

産業社会と人間 課題研究発表大会

1年生は2学期から3学期にかけて、グループで協力しながら各テーマについて調査・研究に取り組んできました。周辺地域や地元の人にインタビューしたり、意見交流をしたり、観察したり様々な手法でリサーチし、学んだ成果をプレゼンテーションの形で発表することになりました。

演劇で コミュニケーション

演劇グループは相手との距離感やコミュニケーション能力などを養うため、様々な活動を講座内で体験してきました。発表会では、チームワークが必要でなおかつ相手を信頼していなければ完成できない「人間椅子」を披露しました。そのあとは、赤と緑の帽子をかぶり、「すごい配管工の兄弟」というショートコントを演じ切りました。思い切りのあるパワフルな演技で観客を魅了しました。



丹後地域の バリアフリーマップ作成

「京丹後市で車いすに乗って旅ができる」をテーマに、体が不自由な方でも旅を楽しめるためのバリアフリーマップを作成しました。実際に車いすに乗る体験をしたり、地域リサーチで地元の観光施設を訪れたり、とても活発でした。地域リサーチで訪れた場所はミルク工房そら、道の駅丹後王国で、店内や店外、周辺で車いすが利用できるか調べました。



丹後のPRポスターを作ろう



外国人観光客が京丹後市に訪れた際に役立てるためのお店の英語のPRポスターと指さしシートを作成しました。民宿や旅館の方と話し、印象に残った話や外国人観光客が来て困ったこと、お店の何をPRしたいかについてリサーチしました。また、この経験を通じて英作文や民宿や旅館の方とのコミュニケーションの取り方などについても学び、有意義な体験になりました。



久美高CMを作ろう

機材から映像の編集まで、なにもかも本格的で非常にクオリティの高いCMが完成しました。カメラとマイク、照明の使い方についての発表には圧倒され、1つのCMにこれだけ多くの人が関わっているのを見て、驚きました。完成されたCMはとても分かりやすく、生徒の生き生きとした学校生活が窺えるものでした。系列から学校行事、クラブ紹介、授業風景まで活気のある久美浜高校をカメラでとらえることができました。



「新興梨」の オリジナル加工食品を 作ろう

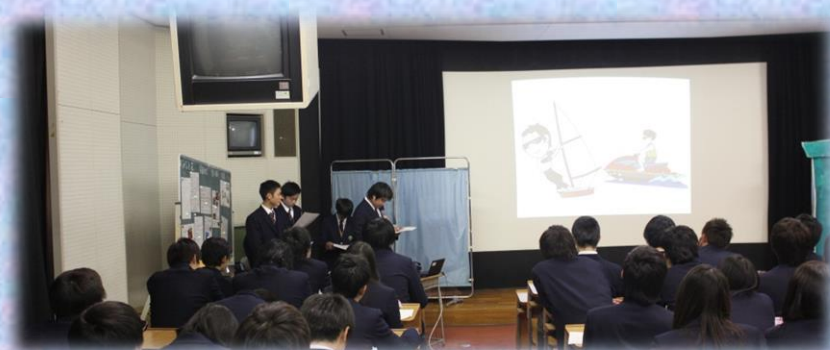


梨を使って生徒が考えたオリジナル加工食品は、全部で14品目あり、ジャンルもスイーツから惣菜系まで多岐にわたっていました。発表では、梨タルトや梨チップス、梨スムージー、梨バターなどユニークなものを見せてくれました。意外なものでは、梨キムや豚テキ梨ソースなどがありました。作り方や工夫した点なども聞けて、とても興味深い発表になりました。



久美浜湾の渡り鳥調査

久美浜湾に訪れる渡り鳥を撮影したり、特徴を調べたり、とても活動的なグループでした。なぜ白鳥が久美浜湾に飛来しなくなったのかという疑問から川の水質調査を行いました。生活排水が原因で久美浜湾が汚れているという現状やエサとなる水草が減ってきているということを皆に伝えることができ、改めて久美浜湾の状況を知ることができました。



紙芝居を作ろう



生徒たちは京丹後にまつわる昔話を題材に紙芝居を披露しました。絵は生徒たちがオリジナルで制作しました。発表には紙芝居用の舞台が使われ、とても本格的な紙芝居でした。作品は「奥山の狸」と「猿の嫁入り」の2つで、次の展開が気になるような物語でした。

